

新発売

タフロン

# AU コート (グレー)

コンクリート構造物の耐震補強工法のアラミド繊維シート接着及び含浸用に使用することで、倒壊等の災害から身を守ります。

肌荒れしにくい

強い接着力

AU コートの4つの特長

1液性で作業性◎

プライマー不要

【荷姿】



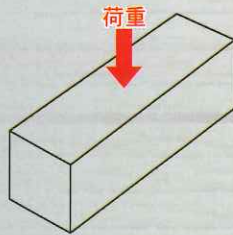
1ケース【1kg入り×10袋】  
※1袋で約1㎡を施工できます  
(1回塗り 0.2kg/㎡)

←塗布色  
サンプル

- コンクリート躯体とアラミド繊維シートを強く接着させます
- 低臭気で人体への健康被害が比較的少ない樹脂です
- アラミド繊維への含浸性が良く、ダレを起こしにくい設計です
- 1液性のため混合ミスがないうえ、作業性に優れています
- 耐水性、耐久性、耐摩耗性、耐薬品性に優れています

## ■コンクリート曲げ強度試験 (無鉄筋)

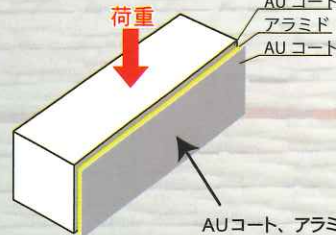
■無補強



■試験結果  
4.72 N/mm<sup>2</sup>

※保障値ではありません

■AUコート+アラミド(片面)



■試験結果  
6.74 N/mm<sup>2</sup>

AUコート、アラミド  
繊維、AUコートの  
順で施工(片面)

<試験前>



<試験後>



## ■注意事項

- 施工は、湿度90%以下、下地の水分量が5%以下で行ってください。
- 紫外線が当たる場所では、仕上げ材として別売りのトップコートを使用してください。
- 本剤は、空気中の水分と反応する1液性です。開封後は使い切ってください。

※厚塗りすると発泡しやすいためご注意ください

## 発泡例

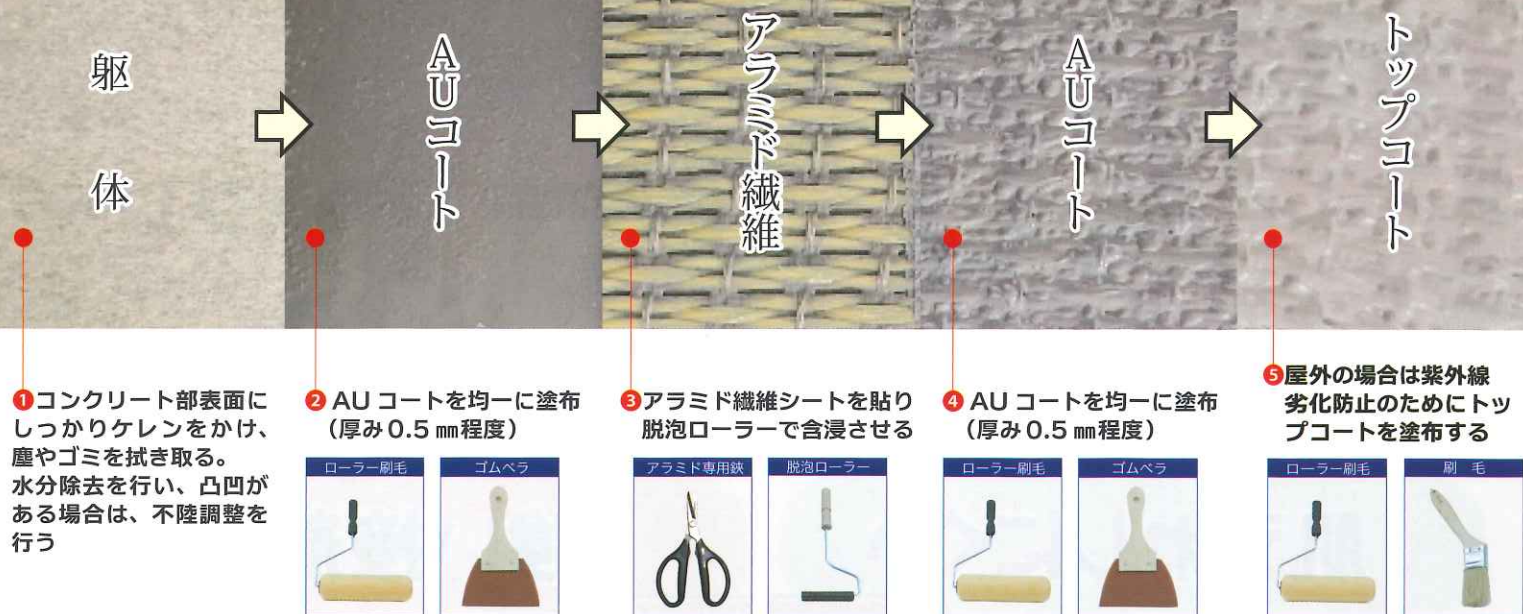
厚塗りすると、硬化時に発生する炭酸ガスが抜けられずに内部で気泡となり膨れてしまいます

適量 (最大値)

アラミド有  
下塗り: 0.4 kg/㎡  
> 計 0.8 kg/㎡  
上塗り: 0.4 kg/㎡  
アラミド無 0.4 kg/㎡

(短毛ローラー1回塗り 0.2kg/㎡)

## ■ 施工手順



## アラミド繊維耐震補強工法用ウレタンバインダー

耐震補強工法として橋梁や橋脚をはじめとする土木・建築分野では主流となっている、アラミド繊維を用いた耐震補強工法では、ライニング用の樹脂のほとんどがエポキシ系であり、その耐久性は長期間の実績から証明されています。

一方で、エポキシ樹脂の安全性については、硬化剤と反応した樹脂塗膜は水道管内のコーティングに使用されるなど安全であるが、主剤・硬化剤混合前の状態は、作業者に健康被害をもたらすことが報告されております。

そこで、エポキシ樹脂に代わり、作業者の健康・安全が確保される樹脂を検討した結果、ウレタン樹脂が最も適していると判断し、商品開発を致しました。

### 《性 状》

項目	AU コート	試験方法
主成分	ウレタン樹脂	—
外観	灰色粘稠液体	—
比重 (23℃)	1.1	JIS K 5600
可使時間 (23℃)	60分	JIS K 5600
指触乾燥時間 (23℃)	5時間	JIS K 5600
硬化乾燥時間 (23℃)	10時間	JIS K 5600

### 《物 性》

種類	項目	強さ	試験方法
塗膜物性	引張強度	29 N/mm <sup>2</sup>	—
	引張伸び	5%	—
付着強度	付着強度（基材：モルタル）	2.5 N/mm <sup>2</sup> （モルタル材料破壊）	JIS K 5600
曲げ強度	曲げ強度（基材：コンクリート）	5.88 N/mm <sup>2</sup> （コンクリート材料破壊）	JIS K 5600

※保障値ではありません



株式会社 マンホール商会

レジン事業部 〒350-0256 埼玉県坂戸市善能寺513番地  
TEL 049-280-7275 FAX 049-280-7276

ホームページ <https://www.manholes.co.jp>

●販売代理店